職務経歴書記入例

職　務　経　歴　書

宮城県職員採用選考考査（行政実務経験者）用

氏名	フリガナ　ミヤギ　タロウ
	宮城　太郎

職種	受考番号
一般事務	※記入不要

在学期間中のアルバイト等を除く全ての職務経歴について、**職務内容を詳細に記入してください。**
募集要項中「3　応募資格」に記載の職務経験に該当する職務経歴は、「職務経験への該当」欄で「✓」又は「■」を記入してください。

「職務内容」
できるだけ詳しく
記入してください。

勤務先・所属・職名	在職期間	職務内容	職務経験への該当
○○県○○部 ○○課主査	令和5年4月1日　から 現在　まで	県政策の計画策定業務、県民への調査及びその取りまとめ等	■
雇用形態 ①職員（②を除く）	在職中、連続して３か月を超えて職務に従事していない期間（産前産後休暇を除く。） ①　から　まで ②　から　まで ③　から　まで		※記入不要
○○県△△部 △△課主査	平成30年5月1日　から 令和5年3月31日　まで	土木工事における予算・経理業務	■
雇用形態 ①職員（②を除く）	在職中、連続して３か月を超えて職務に従事していない期間（産前産後休暇を除く。） ①　平成30年12月1日　から　令和元年9月30日　まで ②　から　まで ③　から　まで		
無職	平成30年4月1日　から 平成30年4月30日　まで		□
雇用形態	在職中、連続して３か月を超えて職務に従事していない期間（産前産後休暇を除く。） ①　から　まで ②　から　まで ③　から　まで		※記入不要
××市□□部 □□課主事	平成28年4月1日　から 平成30年3月31日　まで	県税の賦課徴収業務	■
雇用形態 ①職員（②を除く）	在職中、連続して３か月を超えて職務に従事していない期間（産前産後休暇を除く。） ①　から　まで ②　から　まで ③　から　まで		※記入不要
××市△△部 ○△課主事	平成25年4月1日　から 平成28年3月31日　まで	生活保護のケースワーク業務	□
雇用形態 ①職員（②を除く）	在職中、連続して３か月を超えて職務に従事していない期間（産前産後休暇を除く。） ①　から　まで ②　から　まで ③　から　まで		※記入不要
	から まで		□
雇用形態	在職中、連続して３か月を超えて職務に従事していない期間（産前産後休暇を除く。） ①　から　まで ②　から　まで ③　から　まで		※記入不要

「在職期間」
在職中の職務に従事していない期間を含め記入してください。

「うち職務に従事していない期間」
在職中、連続して３か月を超えて職務に従事していない期間（産前産後休暇を除く。）を記入してください。

職務経験の期間	直近10年間における、国、都道府県又は市区町村における行政事務についての職務経験（国、都道府県又は市区町村の職員（非常勤職員を除く。）として、１年以上継続して勤務した経験）の期間（複数の職務経験を有する場合は、それぞれの期間を通算したもの）） ※複数の職務経験を有する場合は、それぞれの期間を通算して取り扱います。ただし、職務経験が重複している期間がある場合は、重複している職務経験のうち、いずれか一つのみを通算することができます。 ※募集要項中「３　応募資格」に記載の職務経験の期間を満たさない場合は、申し込むことができません。 ※在職中、連続して３か月を超えて職務に従事していない期間（産前産後休暇を除く。）がある場合、その期間は職務経験の期間に含まれません。	職務経験年数	通算　9　年　1　月　0　日

（注意事項）

1 直近の経歴から順に記入してください。
2 **直近10年以前の職務経歴も記入してください。**
3 勤務先が同じでも所属や職務内容が変わった場合は、別の行に記入してください。
4 書ききれない場合は、行を追加し、記入してください。
5 職務経験期間を確認するため、合格者には職歴証明書を提出していただきます。
なお、**職務経験期間が確認できない場合は、採用されません。**

「職務経験の期間」
記入例の通算9年1月0日の考え方
①　××市での職務経験のうち、平成28年11月1日から平成30年3月31日までの期間「1年5月0日」を算入。
②　○○県での職務経験のうち、平成30年5月1日から令和8年10月31日までの期間「8年6月0日」から、
連続して３か月を超えて職務に従事していない期間（平成30年12月1日から令和元年9月30日までの期間「0年10月0日」）を除いた「7年8月0日」を算入。
①+②により通算「9年1月0日」となる。

※　１年以上継続した職務経験のうち、複数の１か月未満の日数を通算する場合は、30日を１か月として計算してください。